

業 務 速 報

NO. 1068
2017.11.8
J R 東海労働組合
発行 小林 光昭
編集 加藤 光典

2017年度年末手当の支給に関する第3回団体交渉 年末手当3.0ヶ月回答不満！ 業績の反映・社員の努力にしっかりと応えるべきだ！

本部は11月8日、2017年度年末手当第3回団体交渉を開催した。会社は回答にあたって、「運輸収入が順調に推移したことにより、第2四半期の業績が対前年比で103.6%となり、通期における業績も上方修正した。しかし今春は4年連続となるベースアップも実施し、期末手当を含めた賃金水準は世の中の相場と比較して既に高い水準となっている。順調な業績を下支えした社員の努力に報い、今後の奮起を期待し今年度の年末手当は3.0ヶ月分支給することとした」と発言した。

本部は、組合要求3.5ヶ月をはるかに下回る支給月数であり、社員の労苦に全く応えていない回答に対して、「大いに不満である」と強く表明し、持ち帰り検討とした。持ち帰り検討の結果、再申し入れを行うこととした。

2017年度年末手当の会社回答

1. 支払い月数は、3.0ヶ月分とする

(11月1日現在の基本給、調整手当、扶養手当、役付手当、補償措置)

2. 支給日は、12月11日以降準備でき次第とする

組合：6期連続で最高益である。それは社員の苦労が何よりもの源である。夏よりも下げた回答など到底納得できない。持ち帰り検討するが、再申し入れをする考えである。

本部は、「回答」を不満として持ち帰り検討の結果、再申し入れを行います。

会社回答時発言

平成 29 年度年末手当交渉 回答時発言

当社の第 2 四半期累計期間における業績は、運輸収入が、ビジネス、観光と
もにご利用が順調に推移したことにより対前年 103.6%となり、通期における業
績予想も上方修正しました。また、中央新幹線の建設や大規模改修工事をはじ
めとした各種施策を着実に進め、JR ゲートタワーの全面開業や「スマート E
X」サービス開始等、これまで準備してきた施策が結実した期となりました。

一方で、今春は 4 年連続となるベースアップを実施し、当社の期末手当を含
めた賃金水準は、JR 他社はもちろん、世の中の相場と比較しても高い水準に
あります。

今後、中央新幹線の建設をはじめとする重要な施策を着実に進める上で、会
社の経営体力を一層強くすることが大切であり、また、鉄道事業をはじめとす
る公益性の高い業務を長期的な観点から営む当社として、期末手当は、業績給
としての性格は勘案しつつも、短期的な変動に左右されることなく安定的な支
給を維持することが大切であると考えています。

以上の観点から、順調な業績を下支えした社員の努力に会社として精一杯報
いるとともに、今後とも安全安定輸送の確保と各種施策の着実な推進に向け一
層奮起することを強く期待して、年末手当の安定的支給ベースである 2.9 箇月
分に 0.1 箇月分を上積みし、3.0 箇月分支給することとしました。

社員のみなさんには、今回の回答内容をふまえ、当社で働くことへの自負と
責任感を強く持ち、安全最優先を基本としつつ、低コスト化や効率的な業務遂
行体制の構築等により更に経営体力を強化し、サービスに一層磨きをかけ、お
客さまの信頼に応えつづけるべく業務にまい進することを強く期待します。